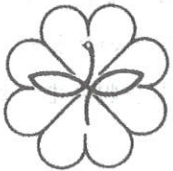


みんじれん堺

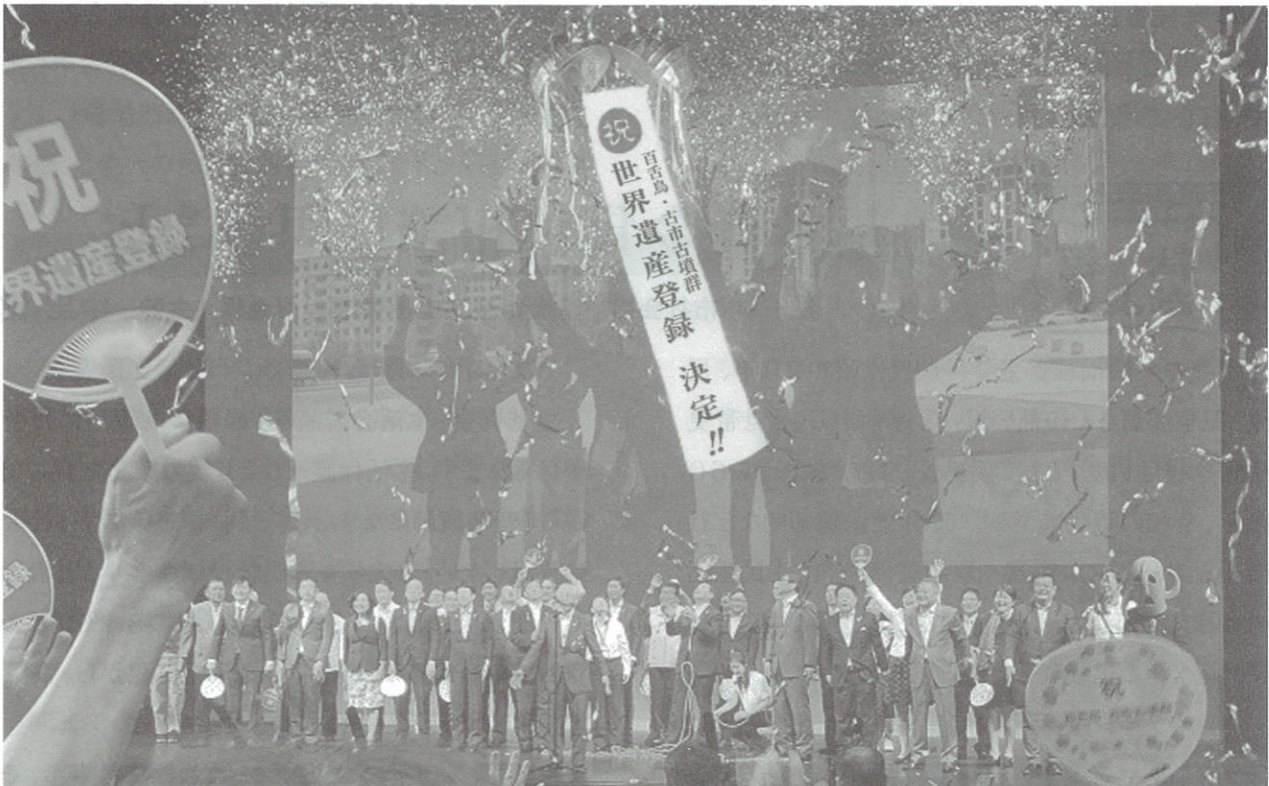
第 65 号

発行 令和元年11月
発行者 堺市民生委員会
児童委員連合会
住所 堺市堺区南瓦町2番1号
電話 072-232-5420
発行 堺市民生委員会
責任者 児童委員連合会
会長 加納 剛



支えあう 住みよい社会 地域から

特集:委員長に聞く 民生委員児童委員一斉改選を迎えて



世界文化遺産

健康のため近くの古墳を巡ったことがあった。拝所前は手入れが行き届いて、すごくきれい。しかし全容は見えない。ただの森があるだけである。その森の下には築造時「せん石」といわれた瓦のようなものが数百万枚敷き詰められているらしい。歴史書で得た知識でいろいろ想像する。古代のロマンが頭を廻る。すごく楽しく。時を忘れる。

5世紀のある日、16代仁徳天皇は大和の山から国を見下して「煙が立ちのほらないのは民が貧しいからだ」と言い、民のすべての税と労役を免除した。その天皇が83歳で亡くなり築造していた

百舌鳥の地に葬られた。世界最大全長486m陵墓の成立である。そんな徳の高い天皇が、延べ680万人の人々を使い死去する20年も前から築造にかかっていたそうで「ホンマかいな」と思うのだが…。



この仁徳御陵を含めたいずれも学術証明がされていない大小23基の百舌鳥古墳群が大阪府で初の世界文化遺産登録に決定した。これは堺市にとって誇らしく、堺の歴史や文化を国内外に広く知っていただくと市民として嬉しく、必ず後世に引き継いで欲しいと思います。

連合会副会長 小寺 三郎



ごあいさつ 堺市長 永藤 英機

民生委員児童委員の皆様には、平素から市政の各般にわたり、格別のご支援・ご協

力を賜り、厚くお礼申し上げます。

皆様におかれましては、地域福祉の中心的な担い手として、高齢者や子どもの見守り、障害者への支援をはじめ、生活困窮、引きこもり、虐待、DVなど、地域の様々な問題の解決に向けて、日夜ご尽力をいただいております。心から感

謝申し上げます。

また近年、80代の親が50代の子どもの生活を支えるといった8050問題や空き家問題など、様々な社会問題が顕著化してきています。

本市におきましても、地域包括ケアシステムの推進をはじめ、今後とも誰もが安心して暮らせるまちの実現に力を注いで取り組んでまいりますので、引き続き力強いご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、堺市民生委員児童委員連合会の益々のご発展と、皆様のご健勝、ご活躍を祈念申し上げます。私のご挨拶とさせていただきます。



福祉資金貸付相談に思うこと

堺市社会福祉協議会 生活支援課 福祉資金係 主幹 中出 繁

現在の生活福祉資金貸付制度は昭和30年、民生・児童委員さんの熱い思いと運動から、「世帯更生資金貸付制度」として誕生しました。あれから60余年、令和の時代に至るまで、介護保険制度など社会福祉サービスの変遷や雇用経済動向、住民生活の多様化のなかで、資金種類や内容を再編し、時代に対応できる福祉資金として成長してきました。

平成27年、「生活困窮者自立支援法」の施行に伴う総合支援資金等の再編は、金融不況であえぐ多くの失業者等の皆さんに、明るい希望を与えたと言っても過言ではありません。

さて、近年の資金相談は、「教育支援資金」と「福祉資金・生活必需品等」の積極的運用に特徴づけられます。生活保護やひとり親の家庭で育ちながら「音楽教師になりたい」、「技術を身に付け社会に貢献したい」と大学や専門学校に進学する若者たちの姿が特に目立ちます。年間貸付の84%がこの目的での利用です。また昨今の異常気象から、高齢者のエアコン買替も増えています。

人間らしい生活を支援する。これは貸付資金、そして福祉相談の基本ではないでしょうか。

新潟市民児協×堺市民児連 意見交換会

6月に新潟市民児協の方々約20名が堺市にお越しいただき、意見交換会を行いました。堺市と新潟市は政令指定都市になったタイミングも堺の方が1年早いものの同時期で、人口規模も世帯数もほぼ同じです。ただ、面積が新潟市は堺市の約5倍となり、その上での活動の工夫などを教えていただきました。両市とも課題となっているのはやはり担い手不足の問題で、どうすれば確保できるのかお互いに意見を



出し合い深めていきました。

今後ともこのようなつながりを大切にしていきたいと思います。

民生委員児童委員大会 開催について

総務委員会報告



6月28日、第24回堺市民生委員児童委員大会が国際障害者交流センター（ビッグ・アイ）にて、多数の参加のもと盛大に開催されました。

第一部では、永年勤続36年をはじめ29名の方々が表彰されました。また、平成30年度活動報告、大会宣言など「支えあう 住みよい社会 地

域から」をテーマに今後の活動方針などが採択されました。

第二部の講演は「自分のことは自分で……」をテーマに、関西大学名誉教授 杉本厚夫氏を講師に迎え、地域の大人たちが、地域の子どものわが子として付き合う「社会的親の不在」が、子どもたちのさまざまな問題行動を引き起こしているという現象を多くの事例から指摘されました。

(委員長 小猿 克義)



会長のひとりごと シリーズ⑦

なり手不足

堺市民生委員児童委員連合会 会長 加納 剛

令和元年度の一斉改選に向け、各校区で予備推薦会が開催された。その際課題として浮かんできたのは「なり手不足」と「途中退任」である。「なり手不足」は新人後継者確保の困難さであり、「途中退任」は年齢的に定年まではまだ余裕のある委員が継続せずに退任することです。

共働き夫婦や高齢者労働の増加と地域社会の人間関係の変化から、民生委員など世話役的な役目には関わりたくないといった風潮が一般的であり、そのうえ民生委員のことやその活動の様子があまり知られていないことが「なり手不足」の一因になっているのだろう。

堺市民児連としても、民生・児童委員活動に関する広報活動の強化に努めており、駅頭キャンペーンやPRカード、リーフレット、パンフレットなどの広報グッズを頒布することで広報活動を支援している。また、大学生のインターンシップや学校教育との連携も視野に入れ取り組んでいる。

しかし、民生委員児童委員の「魅せ方」を考えた時、結局は私たち委員が日頃の誠実な活動を通して住民の信頼と尊敬を得ることであり、これが「魅せ方」の最大ポイントと言えるのではないのでしょうか。



専門委員会だより

社会問題化する 中高年のひきこもり

生活福祉委員会報告

ひきこもりが10代20代の若者の間で指摘されていたが、調査結果で中高年が深刻であることが判明した。平成27年に実施した調査では、15～39歳の若者のひきこもりは54万人と推計されたが、平成30年度の調査では全国40～64歳のうち、推計61万人がひきこもり状態であることがわかった。

子どもが年をとれば、親も高齢化する。80代の親と同居し、ひきこもる50代の子の家庭が増加し、周囲から孤立するケースがあり、「8050問題」と言われる。ひきこもるきっかけは「退職」や「就職活動」など就労に関するものが多くをしめるように思われる。

そこでこのたび、民生・児童委員と相談支援機関との連携体制を構築するため、9月25日(水)に「ひきこもりの方への支援について」の研修会を開催し認識を深めました。

(委員長 谷本 正洋)



南区親子のつどい

主任児童委員会報告



南区では「みんなで楽しく子育て」を合言葉に3年に1度の子育てフォーラムを本年6月10日(月)に主任児童委員会主催、大阪府立児童館ビッグバン共催で開催しました。準備は南区子どもネットワーク会議運営委員会で行い、民児協、子育て支援課他に協力してもらいました。

内容については担当部会で主任児童委員6名が出演者探し、出し物などを前年12月までに決定、チラシ・ポスターは2月末までに作成、4月末までに配布先に各校区主任児童委員20名が協力依頼を兼ねて行きました。今回は「歌とピアノのお姉さんと一緒に歌うコンサート」「大阪YMCA体操教室指導員と親子でできるふれあい体操」「はたらくクルマ」「大型スクリーン絵本で遊ぼう」「南区キャラクターみみちゃんも遊びに来るよ」

親子101組他で約300人弱が参加されました。

(南区主任児童委員長 井筒 満)

障害者の防災

障害者福祉委員会報告



今年8月に障害者福祉委員会は、堺市立健康福祉プラザで「堺市ろうあ者福祉協会」「堺市きこえ支援協会」「堺盲ろう者の会」の代表者たちと民生・児童委員の情報交換を目的に、委員長研修を行いました。

コーディネーターの社協職員の司会進行で、団体側より「防災ネットワークの取り組み」の紹介を受け、民生・児童委員より「地域での防災活動の取り組み事例」を紹介しました。

最初は緊張感もありましたが、当事者同士の交流会ということもあり質疑応答が進むうちに、和やかな雰囲気になりました。障害者の人数や避難情報の入手方法を知り、災害が起これば本当に民生・児童委員さんが救助に来てくれるのか?という期待感が強いことも分かりました。災害が多発している今、交流を深め「地域防災の取り組み」を進めることが大事だと思いました。

(委員長 西川 久信)

地域包括ケアシステム

高齢者福祉委員会報告

堺市では2025年問題に向け、昨年10月より地域包括ケアシステム構築に着手しています。本年初旬の全体研修会でいろいろ教えてもらったが基礎作りが思い浮かばないため、もう一度研修を受けることにした。

2040年には日本の人口1.1億人のうち生産年齢(15歳~64歳)が6千万人になり、25歳~29歳の女性の未婚者比率が52%と予測されている。新生児数も大幅に減少するそうだ。もちろん、高齢者の定義も変更され、高齢者は現在より10年程永く働き続けなければならない。

とりあえず、実践している「大切なあ・し・た」を機会あるごとに2040年に高齢者になっているであろう若者層にもすすめたい。

(委員長 小寺 三郎)

児童虐待と家庭支援について

児童福祉委員会報告

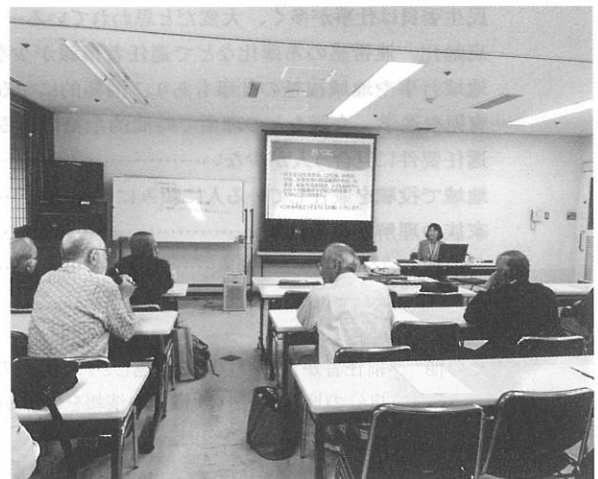
令和元年10月11日に委員長会議後、「児童虐待と家庭支援」と題して、堺市こども相談所井上直子先生に講演していただきました。

1. 児童福祉法第1条、第2条について
 2. 児童虐待の種別として①身体的虐待②性的虐待③心理的虐待④ネグレクト(放任)
- があり、全国の児童相談所での相談件数がますます増加をし、平成30年度は159,850件になっているとのことです。

対応策として、今までも言われ続けられていることですが、早期発見と関係機関への通告と密な連携が大切である。等々の講演でした。

関係機関として、保健福祉総合センター・子育て支援課・子ども相談所があります。

(副委員長 西川 麗子)



特集 委員長に聞く 民生委員児童委員一斉改選を迎えて

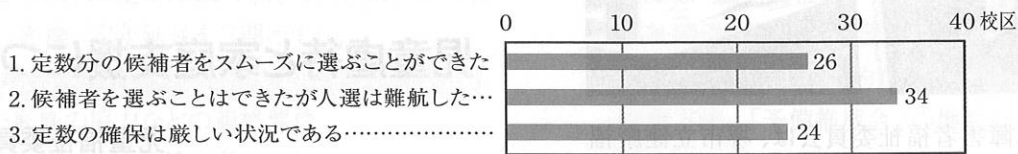
民生委員児童委員は、今年一斉改選を迎えます。

今号では、この改選に合わせ民生委員児童委員活動の現状と

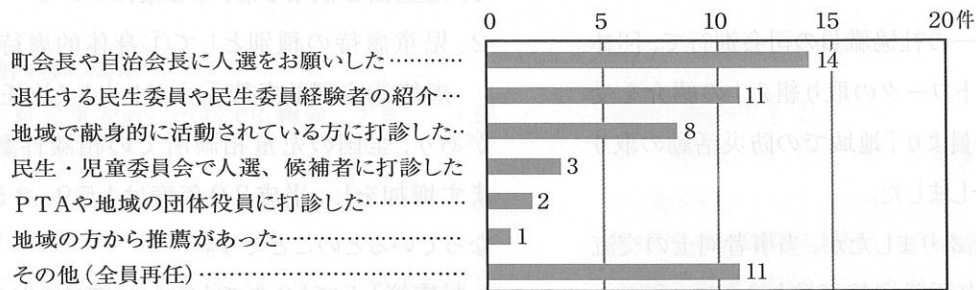
担い手確保の課題について、全校区(93校区) 対象にアンケートを実施しました。

(回収率92.5%)

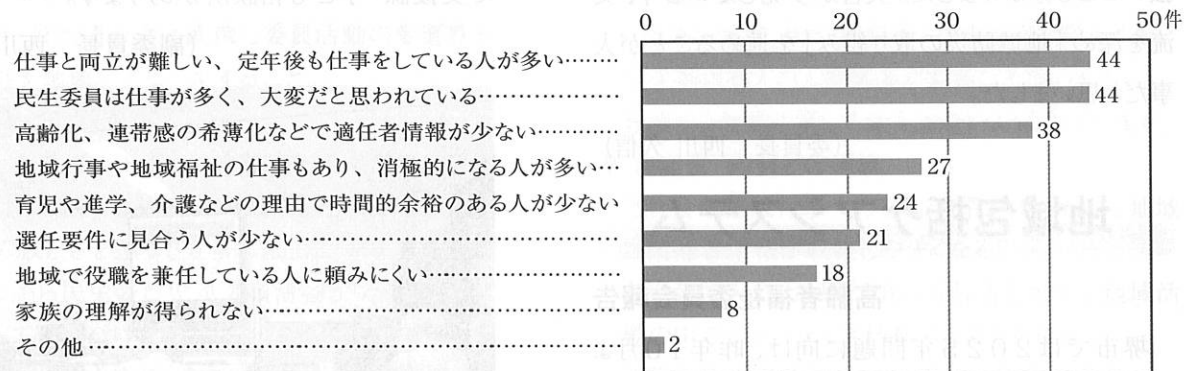
質問1 今回の一斉改選における候補者の推薦状況について、あてはまる番号に○をつけてください。



質問2 問1で1.と回答された方にお聞きします。新任の民生委員児童委員の候補者をどのように探しましたか。あてはまる番号に○をつけてください。(複数回答)



質問3 問1で2.または3.と回答された方にお聞きします。人選が難航した理由として考えられることは何ですか。あてはまる番号に○をつけてください。(複数回答)



その他

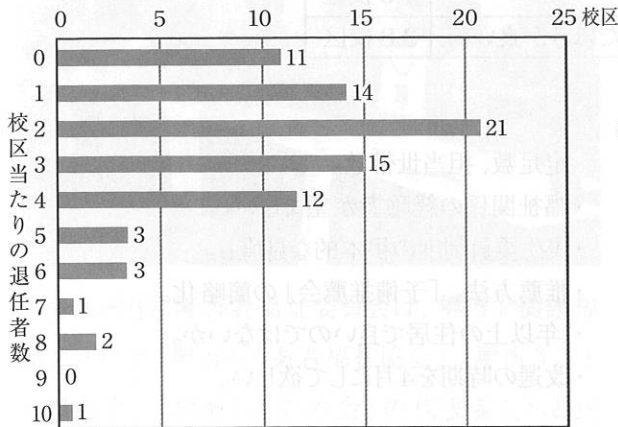
- ・前任者が任期の途中で引越され、地域の自治会長に人選をお願いしたが、適任者がいないと断られ、自分の地域(自治会)以外の情報を他からは得られず困っています。
- ・対応の難しい役員がいることへの不安。

委員長に聞く 民生委員児童委員一斉改選を迎えて 特集

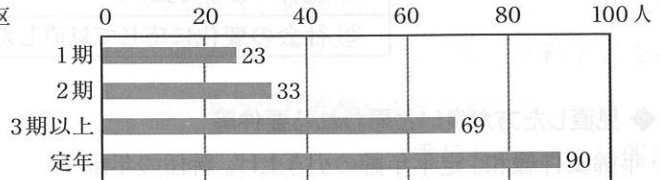
質問4 今回の一斉改選で退任される方の人数および在任期間は何期ですか。

- ① 退任される方の人数は()人
- ② 1期()人 2期()人 3期以上()人 定年()人

① 校区当たりの退任者数と校区数

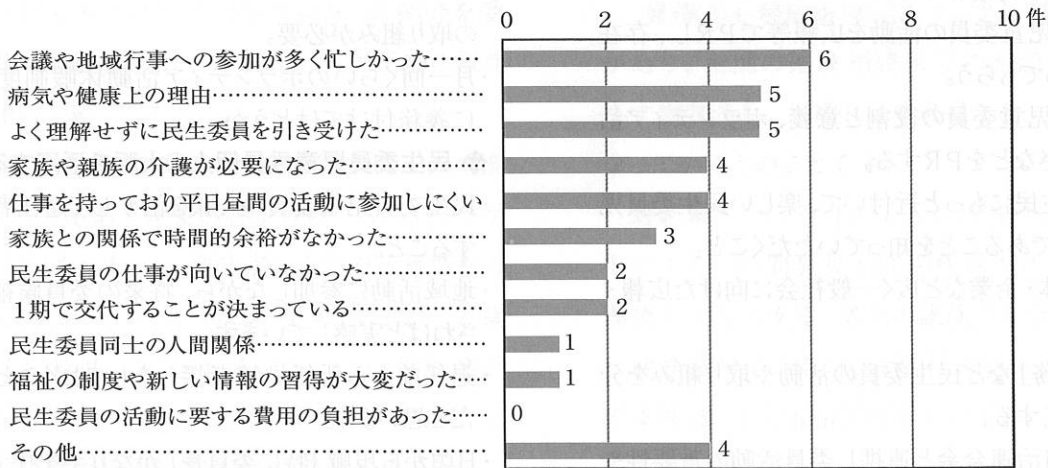


② 期数別退任者数



質問5 問4で1期で退任されると回答された方にお聞きします。

1期で退任される理由として考えられる番号に○をつけてください。(複数回答)



- その他
- ・3年前に引き受けていただいた時、73歳と分かった。
 - ・定年
 - ・転居

前号で、校区めぐり東百舌鳥校区の執筆者を「中辻 愛子」様とお伝えしましたが、正しくは「中辻 愛弓」様の誤りでした。
お詫び申し上げます。

特集 委員長に聞く 民生委員児童委員一斉改選を迎えて

質問6 民生委員候補者の推薦にあたり、民生委員としての適格要件、年齢要件、選任方法等についてお聞きします。あてはまる番号に○をつけてください。
 (平成31年度 民生委員児童委員一斉改選について<研修資料>を参照してください)

① 現行のままで良い。	40校区
② 社会の変化に応じて見直したほうが良い。	38校区

◆ 見直した方が良いと思われる要件等

- ・年齢要件緩和。定年年齢の引き上げ。新任の年齢要件の撤廃。定年延長を2期とする。
- ・1期3年の任期短縮。
- ・熱意や家族の協力などの適格要件。
- ・仕事の内容。福祉関係が多いように思う。
- ・なり手を選ぶための対応策。
- ・定足数、担当世帯数。
- ・福祉関係の経験者が望ましい。
- ・民生委員制度の根本的な見直し。
- ・推薦方法。「予備推薦会」の簡略化。
- ・1年以上の住居で良いのではないか。
- ・改選の時期を4月にして欲しい。

質問7 民生委員児童委員のなり手不足を改善するには、どのような方策が効果的だと思いますか。ご意見をお書きください。(自由記載)

◆ 活動内容の周知・PR

- ・民生委員児童委員の活動を広報等でPRし、存在を広く知ってもらおう。
- ・民生委員児童委員の役割と意義、ボランティア活動の楽しさなどをPRする。
- ・自治会、住民にもっと近付いて、楽しい民生委員児童委員会であることを知っていただくこと。
- ・学校・団体・企業など広く一般社会に向けた広報・PR活動。
- ・「守秘義務」など民生委員の活動や取り組みを分かりやすくする。
- ・自治会・自治連合会と連携し委員活動の重要性や必要性を地域にアピールすること。

◆ 仕事等との両立

- ・仕事と両立できるように活動内容を見直していただけたらと思います。今回の後任探しは困難で、時代の厳しさを感じさせられました。
- ・働きながら民生委員児童委員活動ができるように配慮していただけたらと思います。
- ・若い方は仕事があり、また65歳まで働く人も多く、なり手が少なくなっているのです。仕事と両立できるように研修や会議等の開催日を考えていただきたいと思います。
- ・民生委員児童委員に対する職場の理解を得るため

の取り組みが必要。

- ・月一回くらいのボランティア活動休暇制度を企業に義務付けてはどうか。

◆ 民生委員児童委員個人の人脈を活用する

- ・民生委員児童委員の人脈を活かして適任者を確保すること。
- ・地域活動に参加しながら、将来の委員候補者を探さねばと実感しています。
- ・退任前から新任候補者探しをしておくことが大事だと思います。
- ・日頃から現職(特に委員長)がなり手を探すこと。民生委員個人の人間関係が重要だと思います。
- ・普段から地道に探しておくしかないような気がします。

◆ 自治会・町会との連携

- ・自治会や地域行事への参加世帯が増えれば、地域の候補者情報が収集しやすくなる。
- ・自治会加入者、地域行事の参加者を増やし地域活動の中でボランティア精神のある人を探す。
- ・校区全体の問題として自治会等の協力が必要。
- ・校区機関紙への民生委員関連の記事を増やす。
- ・自治会と連携し早い時期から人選を行うこと。
- ・地域の自治会役員への働きかけを強くすることが効果的かと思います。

委員長に聞く 民生委員児童委員一斉改選を迎えて 特集**◆ 必要な知識や処遇技術の習得**

- ・地域住民から信頼、尊敬されるように行政の啓発とサポートなどにより民生委員の質向上を図ること。
- ・福祉の制度や新しい情報の習得を行い、地域の方に認められること。
- ・対応困難なケースが多いことを地域住民は見てるので、なり手が少なくなる。民生委員児童委員が抱えている課題等に対する行政のサポート、意見交換の場を持つことが大切である。

◆ 責任の範囲を明確にする

- ・業務の範囲を明確にして、できることはしっかり行い、できないことは断る。
- ・仕事の明確化。各部会の会合、研修会等の削減。配布物の削減。
- ・民生委員の業務内容が多岐にわたっており、面識のない方に対する証明業務など見直し(絞り込み)が必要。

◆ 仕事量を見直し負担感を軽減する

- ・民生委員児童委員の仕事の量や責任の範囲を見直して精神的負担感を軽減すること。
- ・行政からの依頼事項を見直し、民生・児童委員の負担を軽減すること。
- ・仕事の量と内容の見直しが必要であると感じています。

◆ 活動費等の見直し

- ・ボランティア活動では存続することは難しい。委員の定数や活動費等を見直すこと。
- ・民生委員児童委員の活動費の見直し。
- ・旅費・日当・活動費について、社会の変化に応じた見直しが必要。
- ・費用弁償費の大幅増額。
- ・活動費の増額が必要であると感じています。

◆ 推薦方法等の見直し

- ・行政や介護事業所、福祉施設等で仕事をされている方にも新任候補者探しに関与してもらいたい。
- ・PTA経験者、ボランティアなどに参加されている方々の情報が分かればいいのと思います。
- ・地域包括支援センター職員等の民生・児童委員就任や適格者に関する人材情報の提供。
- ・新候補者選びの事例集作成。
- ・民生委員児童委員候補者の登録制度が必要。
- ・女性も働く人が多く、人間関係も希薄で、住民把握が難しい中で、民生委員を選ぶのはハードルが高すぎる。
- ・意欲や能力のある人について、委嘱時の上限年齢を引き上げること。
- ・定年を1期延ばしていただきたい。
- ・地域活動をされていなくても熱意や人柄がよい方なら可能にしていきたい。

◆ 体験型インターンシップの活用

- ・大阪府が実施した「民生委員児童委員の見える化」プロジェクトのような取り組みは、民生・児童委員の認知度向上と担い手の確保に有効な現場体験だと思います。
- ・小学校の認知症キッズサポーター養成講座のように、民生委員の仕事やボランティア活動について、小さい時から理解してもらえるように、カリキュラムの導入をしてもらう。
- ・福祉実習生や「民生委員児童委員の見える化」プロジェクトの学生さんと接する機会を増やして欲しい。

皆さんの自由投稿 お待ちしています

エッセイ、川柳、短歌、俳句、など日常の感慨や貴重な体験談を、また民生委員児童委員連合会にたいするご意見やご質問などお寄せください。

みんじれん堺 編集委員会

中区 高齢者安心ネットワークのあゆみ



土師校区 中辻 さつ子

現在少子高齢化が進み、高齢者（ひとり暮らし・夫婦のみ・要介護認定・認知症など）と複合的課題を抱えている方が非常に増えています。

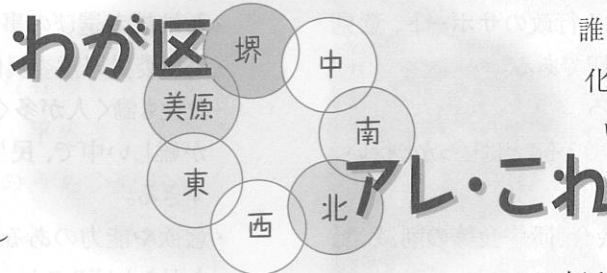
中区では、平成20年6月に高齢者安心ネットワークを立ち上げました。現在高齢者関係機関者会議とも連動して活動しています。

高齢者が住みなれた地域で安心して、その人らしく暮らし続けていけることを目指しています。メンバーは会に賛同していただいた地域の方、その他関係機関の方々となっています。

取り組みとして、月1回会議を実施し、地域の課題集約や取り組みの検討などを議論しています。また年1回セミナーを開催し、認知症の理解や高齢者虐待防止などの啓発を校区福祉委員会と共有しながら開催しています。安心連絡シートの配布、レターの発信もし、周知に努め

ています。

見守りの連携として、民間事業所、金融機関、郵便局、商店、スーパー、コンビニなどでも見守り支援をしていただいています。見守り登録事業所との交流会も開催したり、「中区区民フェスタ」では区役所内にブースを設け、認知症啓発をし、たくさんの来場をいただいています。



誰しもが向かっている高齢化、皆が我が事としている関係機関と連携し、顔の見える関係づくりをすること。そして何よりも安心して相談できる

場所が有り、人がいて支援に繋げることが大切であると思います。



母の認知症を知ってから

湊西校区 内海 照美

母の認知症を知って7~8年になります。それまではテレビなどを見て「あーいう風になるんや!」と思っていたのですが、実際には個々違うのだと医者に言われショックでした。

物忘れがひどくなり、被害妄想が出たり失禁まで。薬をきつくすると、暴言・暴力・徘徊するようになる可能性があると言われて現状のままに。

性格はおとなしく、朗らかなので、デイやショー

トではすんなりと受け入れてもらえ随分助かりました。

ケアマネさんの勧めで入居の手続きを早めに申込み、空き部屋待ちでしたが、介護度が5になって4か月ほどで入居できるように。

医師やケアマネさんに相談してよかったです。



なんとなくホッと話す話

赤坂台校区 四谷 任

毎日のように“安まちメール”が届き、やれどこそこ台で痴漢がでたとか、別のどこそこ台で小学生の女子が50歳の男に声をかけられたとか。そんなメールを見ていると、おいそれと女の子に声をかけづらくなるこの頃です。

雨に傘を使うのですが、すぐにバスや地下鉄、会館などに忘れてくるので紛失してもいいように500円のビニール傘を愛用しています。しかし、同じような傘を使う人は多く、すぐ間違えます。“これは私の傘だ”と他人の傘と区別するために取っ手に赤いビニールテープを巻いています。

7月初めの梅雨の時期のことです。昼まで晴れていた空が3時過ぎには土砂降りの雨になり、4時には少し小降りになったので、地域会館から帰途につきました。最近の天気予報はよく当たるものだと感心しながら傘をさして、足早に歩いて家の近所まで来ると中学生の女子が雨に濡れながら帰宅するのに出会いました。声をかけるのに少しためらいはあったのですが、濡れてかわいそうという気持ちが勝り、「傘はないの?」、ぶっきらぼうな返事は一言「ない」。「家まで遠いの?」、「遠い」。「ジャーこの傘使え。傘はあげるから。もし使わなくなったら、地域会館の傘立てに入れて」と言って私は走って帰り、すぐにシャワーに飛び込みました。

次の日の夕方、会議のため地域会館に行くと、玄関先の傘立てに赤いビニールテープの巻いた傘がぼつんと一本入っていました。

変貌する泉北

竹城台東校区 伊吹 肇

泉北には、旧村とニュータウンの新・旧の住民が上手く溶け合い50年を迎えます。当時はニュータウンにあこがれ各地より多くの人たちが、新しい環境を求めての生活が始まりました。

50年経った今、成人となった若者たちは親元を

離れ、残った年若い親たちの寂しい環境となりました。これも少子高齢化の要因になるかもしれません。

ここ数年、あちこちで空き家の数が増えてきています。また、公団住宅、UR団地でも建物の老朽化に伴い、各地域で団地の建て替えが進んでいます。そのため高齢の人たちにとっては、転居という難題に大変な労苦を強いられています。

数年後には、近畿大学付属病院狭山が、泉ヶ丘にやってきます。そのため泉ヶ丘プールが原山台に移ります。泉北の玄関口、泉ヶ丘UR団地の建て替え工事がいよいよ始まりました。

大きく生まれ変わる泉北に、期待が膨らみます。



みんぢれんファミリー 作 おおぐらN 画 なんぼN



介護相談員の活動

介護相談員連絡会報告

介護相談員は、施設利用者・家族の皆さんが感じている不満や心配事をお聞きして、より良く過ごせるように、また、施設の介護サービスの向上を図ることを目的として訪問しています。

特別養護老人ホームは、介護3以上ということもあって、話しかけても反応がなかったり、話しのキャッチボールが不可能な場合も多くあります。それでも、私たちが感じたことを施設にお伝えすることで、改善につながればと思います。

月1回の連絡会では、相談員が感じたこと、施設にお伝えしたことなど、行政の方も交えての意見交換は大変勉強になります。これからも、利用者の方が、住み良い居場所であることを願い、活動していきます。

(担当役員 金子 美暉子)

交流を通して お互いの発展へ

研修・広報委員会報告



10月7日(月)山梨県^{いさわ}笛吹市石和地区民生・児童委員協議会の委員25名が、県外視察研修のため来堺されました。

笛吹市は甲府盆地の東寄りにあり、桃とぶどうの産地として生産高は日本一。人口は68,000人、面積は堺市の1.35倍。委員数は206名です。

毎年3年毎の改選期には多くの委員が交代してしまう悩みがあり、現在全戸配布の広報誌を更に充実したいとのことでした。

研修会は堺市総合福祉会館5階大研修室で開催、堺市民児連からは、みんじれん堺編集委員



および南風編集の関係者が6名出席し、活動の状況報告、広報誌「みんじれん堺」「南風」の編集、広報活動について説明、熱心な情報・意見交換が行われました。

石和地区では、世代を超えた見守り活動や子どもの頃から民生委員の存在を理解してもらうことにより、ボランティア活動への足掛かりにしてもらうことを目的に「一日民生委員活動」事業を4年前から取り組んでいます。民生委員が各小学校で授業参観、児童と給食、定例会を開催、校長・教頭先生との懇談、下校時には6年生が民生委員と一緒に高齢者宅を見守り訪問します。

今年から新たに「赤ちゃん訪問」を始めました。方法は、市から出す4ヶ月健診のお便りに、民生委員の訪問カードを同封してもらい、希望されるお宅を訪問します。4月から始め、もう石和町の4割弱の赤ちゃんを訪問したとのことでした。

このような民児協間の研修・交流会は、新たな発見を生み、お互いの発展につながるものと思います。

(委員長 星 忠宏)



今回は特集記事として「委員長に聞く 民生・児童委員一斉改選を迎えて」のアンケート調査を実施し、結果を掲載しています。大変ご苦労された校区も多くあったのではないのでしょうか。今後の参考にさせていただければ幸いです。

貴重なご寄稿ありがとうございました。私たち編集委員として勉強させていただいています。

(西野 則子)